

ソフト・ハード連携した取組概要

横浜市では、令和5年度から、「交通事故データ」や「車両速度などのビッグデータ」などを活用し、ソフト・ハード両面で子どもの通学路交通安全対策事業に取り組んでいます。

■ソフト対策

・こども・安全安心マップの公開
(令和6年7月)



・教育現場
・スクールゾーン対策協議会
・見守り活動(はたふり)
・交通安全教室
など、交通安全活動で活用

▼マップはこちら



・市立全小学校(339校)通学区域内での取組



スクールゾーン対策協議会



見守り活動(はたふり)



交通安全教室

・交通安全推進校通学区域内での取組



放課後キッズクラブ



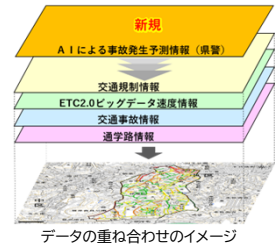
幼児交通安全教育訪問指導

交通安全教育を
重点的に実施

■ハード対策

・交通安全対策の立案

ビッグデータを活用した
潜在的な交通危険箇所の
「見える化」による交通安全対策



・交通安全推進校通学区域内での取組



区画線
(減速ドットマーク)



グリーンバルト



交差点カラー化



狭さく



スムーズ横断歩道



ハンブ

令和6年度の取組内容

令和6年度は、児童を対象とした交通安全教育、地域や保護者と連携した見守り活動などの交通安全対策を重点的に実施する交通安全推進校に、①大岡小学校(南区)、②藤塚小学校(保土ヶ谷区)、③八景小学校(金沢区)、④藤が丘小学校(青葉区)、⑤緑園学園(泉区)の5校を選定し、教育委員会事務局と連携しながら、ソフト・ハード両面で交通安全対策を実施しました。

ソフト対策



放課後キッズクラブ



幼児への交通安全教室



総合的な学習の時間

道路局による動画のコンテンツ提供

ハード対策

ハード対策として、交通安全推進校では、ハンブやスムーズ横断歩道、狭さくといった物理的デバイスを23箇所を設置しました。これにより、新たに「ゾーン30プラス」を6地区で整備しました。



スムーズ横断歩道

南区 大岡小学校通学区域



スムーズ横断歩道

保土ヶ谷区 藤塚小学校通学区域



狭さく



ハンブ

金沢区 八景小学校通学区域



ハンブ

青葉区 藤が丘小学校通学区域



狭さく

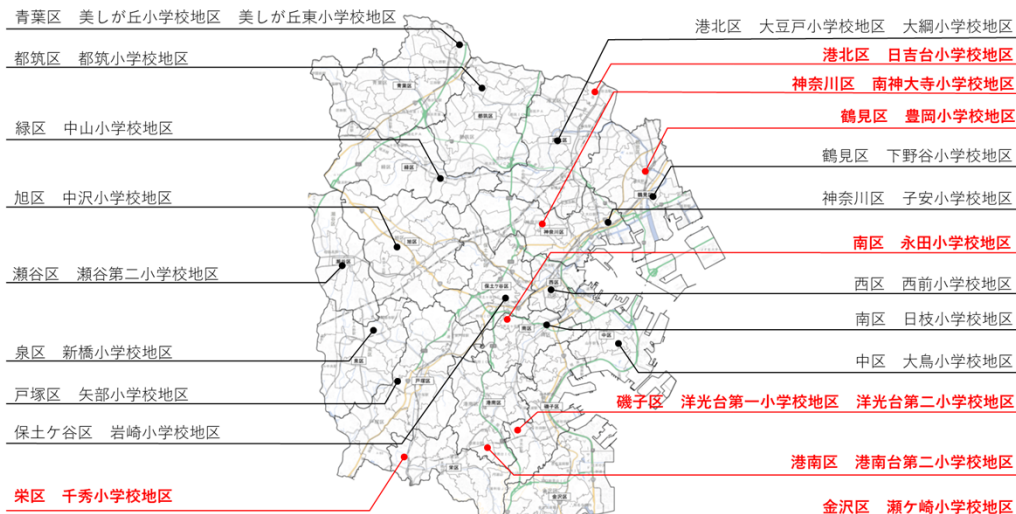
泉区 緑園学園通学区域

令和7年度の取組内容

令和7年度は、交通安全推進校として、①豊岡小学校(鶴見区)、②南神大寺小学校(神奈川区)、③永田小学校(南区)、④港南台第二小学校(港南区)、⑤洋光台第一小学校(磯子区)、⑥洋光台第二小学校(磯子区)、⑦瀬ヶ崎小学校(金沢区)、⑧日吉台小学校(港北区)、⑨千秀小学校(栄区)の9校を選定しました。

スクールゾーン対策協議会などで対策内容を説明しながら、ソフト・ハードの両面で交通安全対策を実施していきます。

その他にもデータを活用した交通安全対策を16地区で実施し、交通安全推進校と合わせて市内25地区で「子どもの通学路交通安全対策事業」を進めていきます。



※交通安全推進校…児童を対象とした交通安全教育、地域や保護者と連携した見守り活動などの交通安全対策を重点的に実施する小学校・義務教育学校(教育委員会で公募)